

地域情報通信基盤整備推進交付金事業1における事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業1			
事業の概要	総事業費	588,723千円		事業完了日	平成23年2月24日
				交付金額	196,241千円
	整備対象地域	北秋田市今泉、七日市、米内沢、前田、阿仁、比立内 地区			
	事業の内容				
	当市では、中心部である鷹巣地区、合川地区においては、通信事業者による超高速ブロードバンド環境が提供されていたものの、中心部以外については光ファイバ網の整備がされておらず、中心部と中心部以外の地域との情報格差が懸念されていた。 中心部以外の地域にも光ファイバ網を整備することで、ブロードバンドサービスによる超高速インターネット接続の提供や、地上デジタル放送の再送信によるテレビ難視聴解消対策により都市部との情報格差是正と、地域活性化を図ることを目指した。 ICT基盤の整備は以下のように進められた。				
	①超高速ブロードバンド環境整備(FTTH) 中心部以外の超高速ブロードバンド環境未提供地区全域に光ファイバ網を構築し、IRU契約により通信事業者に貸し出して、超高速ブロードバンドサービス提供の環境を整備した。				
	②「地デジ」難視聴解消 地上デジタル放送の受信状態が良好な地点に、3箇所受信点を設け、既設のテレビ共聴施設及び新たな地上デジタル放送難視聴地域へ「地デジ」を再送信し、その解消を図った。				
BB	サービス開始日	平成23年3月1日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社 秋田支店			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	H23年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	5055	5055	4792	4571
	加入世帯数	748	1200	1233	1768
	加入率(%)	14.8%	23.7%	25.7%	38.7%
評価及び課題		・加入世帯数の順調な増加は、整備対象地域でブロードバンドサービスの需要があり、本事業が地域住民のニーズに応えられたものと考えられる。 ・整備対象地域は高齢者も多く、今後加入数の増加は鈍化すると予想される。市内の情報格差解消のため、広報活動を検討する必要がある。			